

県立図書館通信

令和3年9月号

(令和3年9月1日発行)



佐賀県立図書館の蔵書の中から、高校生にお薦めの本を紹介します。

新刊図書



『ミュゲ書房』

伊藤調/著

KADOKAWA/発行

資料コード 116314147

出版社を辞めた章は、祖父母が経営していた「ミュゲ書房」を継ぐことになった。書店経営や、本ができるまでの過程が描かれており、本を大切に読もうという気持ちになる一冊。



『俺達の日常には

バッセンが足りない』

三羽省吾/著

双葉社/発行

資料コード 116316209

どの仕事をやっても長続きしないエージは、家族経営で土建業を営んでいるシンジのところへやってきた。迷惑をかけながらもなぜか愛されるエージが突然バットセンターをされるとい出して……。



『9月9日9時9分』

一木けい/著

小学館/発行

資料コード 116324484

バンコクからの帰国子女である高校生の漣が好きになった人は、漣の家族に繋がりのあった人だった。家族の反対を受け、思い悩む漣が出した答えは……。



『池上彰の世界の見方

アメリカ2』

池上彰/著

小学館/発行

資料コード 116314196

2020年大統領選挙から、二大政党、黒人差別、司法制度、軍事・外交・諜報、教育と6つのテーマで「アメリカ」を幅広く、そして分かりやすく解説している。



『必ず、愛は勝つ!』
戸塚 啓/著 講談社/発行
資料コード 115776676

プレーヤーとして頂点を目指していた羽中田選手に降りかかる突然の事故。選手生命を絶たれた彼を奮い立たせたのは、愛だった!



『不自由を自由に変える
魔法の仕事』
川村 慶/著 PHP 研究所/発行
資料コード 116058363

「諦めなくてもいい」をモットーに、高齢者や障害者の不自由を解消する義肢装具メーカーの奮闘。義肢は、体だけでなく心も自由にする。



『四肢奮迅』
乙武 洋匡/著 講談社/発行
資料コード 116114224

歩くこと、それは私にとって「三重苦」だ、それでも私は歩くことを諦めたくない。私が歩くことで誰かに希望を届けられるなら。

東京 2020 パラリンピック競技大会に合わせて
パラスポーツ、パラアスリートについて考えてみよう!



『WHO I AM』
木村 元彦/編著 集英社/発行
資料コード 116095761

内戦で足を失った選手、宗教上の制約で活躍できない女性。パラリンピアン背景には壮絶なドラマがある。



『パラアスリート』
山田 清機/著 PHP 研究所/発行
資料コード 116130196

答えがないから挑む! 9人のパラアスリートの努力の過程や日々の苦勞を記録。彼らと、彼らを支える家族、共に戦うチームの「正解のない道」。



『いま、絶望している君たちへ』
初瀬 勇輔/著 日本経済新聞出版社/発行
資料コード 116066457

大学2年で突然視覚障害になった著者。パラアスリートと起業家2つの顔を持つ筆者の、絶望のどん底からの大逆転ドラマ。

■編集■ 佐賀県立図書館 司書ネットワーク課 図書館・司書支援担当 (0952-24-2900)

◎この通信は HP にも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞ <https://www.tosyo-saga.jp/>

お問い合わせはこちらまで